

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「川の生き物探検隊」×「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」

8月24日(土)に、「鏡川環境保全の会」が主催する体験学習会「川の生き物探検隊」が開催されました！

市内の親子14組36名を対象に、鏡川での水生生物採集や、採集した水生生物の観察会、アユの塩焼きなどの昼食会を行いました。また、採集した水生生物などを、スマホアプリ「Biome」で判定し、「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024 ※」に情報を登録しました！ ※ 8月1日から8月31日までの期間、スマホアプリ「Biome」の「クエスト」機能を活用し鏡川流域の動植物を調査するイベント



まず、藤田真二さん(元・株式会社西日本科学技術研究所所属)から、鏡川に生息する水生生物や魚などについての講演がありました！



網やバケツを持って、鏡川に入り、次々に水生生物を捕まえていきます！



「鏡川環境保全の会」の会員さんが網で捕まえたエビに、子どもたちは興味津々です！「Biome」で判定すると、「スジエビ」と表示されました！単なる「エビ」ではなく、エビの種類まで理解でき、ますます興味深まります！



捕まえた水生生物や魚を大きな水槽に入れて観察会を行いました！



ここでも「Biome」が大活躍！イベントのお手伝いとして参加していた高知大学農林海洋科学部の学生さんや、参加者の大人も子どもも積極的に写真を撮影し、生き物の情報を確認し合っていました！



昼食は、会員さんが丁寧に焼いてくれたアユの塩焼きやお弁当などをいただきました！



鏡川の食の恵みを味わいながら、今回見つけた生き物や川の楽しさを親子で振り返る場面も見られました！



絶滅危惧Ⅱ類に指定されているアユカケも発見！参加者みんなで驚きました！

この環境学習会では、新たに18件の動植物が図鑑に登録されました！これをきっかけに、日常的に鏡川流域の身近な動植物に興味を持っていたら嬉しそうです！



クエストは8月31日(土)まで！8月中に鏡川流域で撮影した写真なら、今からでも図鑑に登録することもできます！

残りの期間も、鏡川流域のいきもの図鑑を一緒に作りましょう！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android